

フロントアイカメラ

FEC111

取付説明書

090003-32240700

お客さまへのお願い

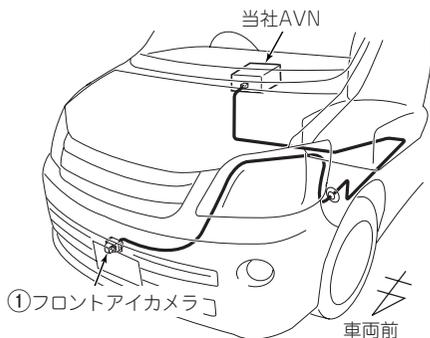
- 取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
- 「取付説明書」をお読みにになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

—販売店様へ—

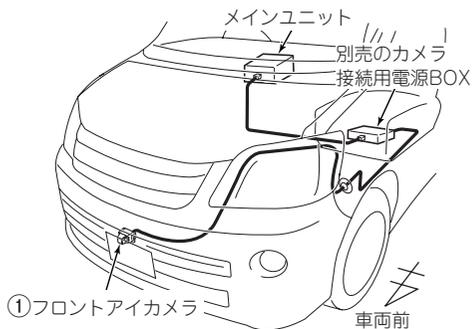
取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

取付概要図

■ 当社AVNと直接接続が可能な場合一例—



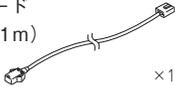
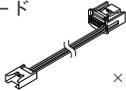
■ 別売のカメラ接続用電源BOXを使用して接続する場合一例—



構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

●本体関係(FEC111)

1 フロントアイカメラ (1m)  ×1	2 カメラコード (3P-3P : 3m)  ×1	3 カメラコード (3P-4P : 1m)  ×1
4 カメラ変換コード (4P-16P)  ×1		

●取付用部品関係(FEC111)

5 U型ブラケット  ×1	6 小ねじ (M3×6)  ×2	7 カメラカバー  ×1
8 六角穴付きねじ (M3×6)  ×2	9 タッピング スクリュ (φ3×10)  ×2	10 クランプ(大)  ×5
11 クランプ(小)  ×2	12 防水シート  ×1	13 ハーネス固定テープ  ×2
14 両面テープ (防水処理用)  ×1	15 平型ブラケット  ×1	16 六角レンチ  ×1
17 小ねじ (M3×20)  ×2	18 バンドクランプ  ×5	19 クリーナ  ×1

※その他の構成部品(取付説明書、保証書などの資料類)

作業の進め方

- 1) 構成部品の確認 (☞構成部品)
- 2) バッテリーの⊖端子を外す
- 3) 接続を確認する (☞接続のしかた)
- 4) フロントアイカメラを取り付ける (☞フロントアイカメラの視野角について)
(☞フロントアイカメラの取り付けについて)
- 5) 配線する
- 6) バッテリーの⊖端子を元に戻す

安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❗ : しなければならないことを表しています。

⚠ : 注意をしなければならないことを表しています。

🚫 : してはいけないことを表しています。

● 本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス

この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

警告

- ❗ 本機は DC12V Ⓐ アース車専用です。
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車の使用はしないでください。火災の原因となります。
- ❗ 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
プラス端子とマイナス端子間のショートによる感電や怪我の原因となります。
- 🚫 本機を次のような場所には取り付けしないでください。
本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。
- ⚠ 車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください。
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行ってください。火災の原因となります。
- ❗ ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。
破片などが目に入ったして怪我や失明の原因となります。
- 🚫 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。
保安部品を使用すると、制動不能や発火、事故の原因となります。
- 🚫 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- ❗ ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 🚫 画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。
- ❗ 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いが出るなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 🚫 エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください。
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起したり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。

警告

- 🚫 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください。
電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- ❗ 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。
ショートにより火災、感電の原因となります。
- ❗ コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となり危険です。
- ❗ 必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。
- ⚠ 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- ❗ 取付説明書で指定された通りに接続してください。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

- ❗ **本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。**
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- ⊖ **雨が吹き込むところなどの水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。**
本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- ⊖ **しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。**
本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- ⊖ **直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。**
金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- ⊖ **本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。**
通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ❗ **コードが金属部に触れないように配線してください。**
金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

- ❗ **コードの配線は、高温部を避けて行ってください。**
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- ⊖ **コード類を決して途中で切断しないでください。**
コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。
- ⊖ **電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。**
機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。
- ⚠ **コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。**
雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。
- ⊖ **本機を車載用として以外は使用しないでください。**
感電や怪我の原因となることがあります。
- ❗ **本機の取付場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。**
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

○ フロントアイカメラ取り付け後の注意事項

ー 使用方法について

- フロントアイカメラを通信しないでください。
- フロントアイカメラは、障害物の確認のための補助手段として使用してください。
- 雨滴などがレンズ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。
- 自車状況(乗車人数・積載量)により、画面に映し出される位置が変化します。必ず前方及び周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラによって映し出される映像だけを見ながら運転することは絶対にしないでください。必ず目視による安全確認をしながら運転してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。
- ゆっくりした速度で運転してください。カメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、速度を上げての運転は人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。
- カメラレンズの特性により、画像に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

ー 取扱いについて

- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。フロントアイカメラの故障や破損の原因になります。
- カメラレンズへの直火やドライヤー、熱湯での急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因になります。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 車両前方画像を表示させた瞬間は、一旦白画像(接続する機種により異なります)になりますが、その後次第に安定します。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、カメラ素子の特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画像のちらつき(フリッカー現象)が起こりますが故障ではありません。
- フロントアイカメラ本体及びレンズ部分、ブラケット、カメラコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因になります。
- 磨き砂等が配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因になります。
- レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因になります。
- カメラコードに傷をつけないでください。傷の部分からカメラ内部に湿気や水分が浸入し火災や感電、故障の原因となることがあります。
- カメラを水に浸したり、自動洗車機(高水圧)による洗車は避けてください。カメラ内部に水が入ったり、また、カメラが脱落したりして、思わぬ事故の原因となります。
- フロントアイカメラ本体に自動洗車機や高圧洗浄機などの高い圧力の水をかけないでください。カメラが落下したり、防水が不完全となり内部に水が侵入して故障や火災、感電の原因となります。
- カメラやブラケットなどは、定期的に点検してください。取付ねじの緩みや貼り付けた部分が剥がれていないことを確認してください。取付ねじの緩みがある場合は、増し締めをしてください。カメラが外れて落下し、歩行者等に接触したり、事故の原因となることがあります。
- 太陽光を直接映したり、強い光(太陽光のバンパーからの反射やヘッドライト等)が入射した場合、光源の上下に光の縦線(スミア)が見れることがありますが、故障ではありません。

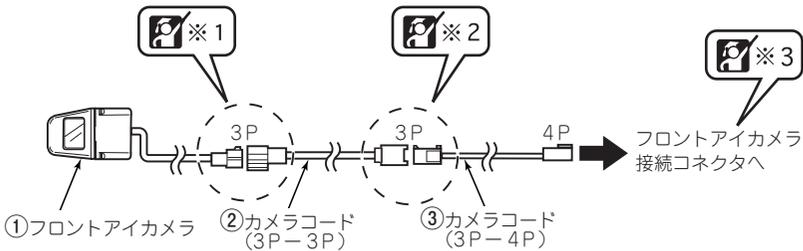
● 接続のしかた



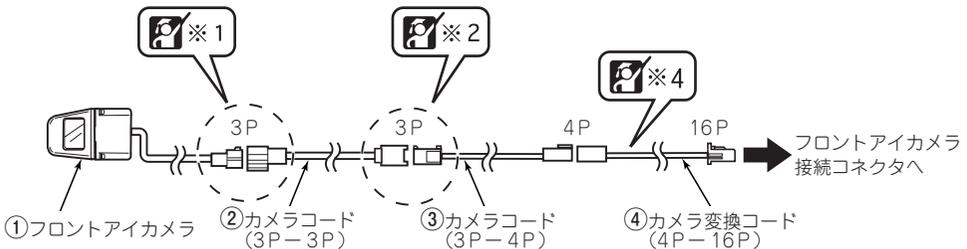
警告

- エンジンルームが冷めた状態で作業を行ってください。怪我や火傷する恐れがあります。注意して配線してください。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

■ AVN側フロントアイカメラ接続コネクタ(4P)または別売のカメラ接続用電源BOXに接続する場合



■ AVN側フロントアイカメラ接続コネクタ(16P)に接続する場合



📷 アドバイス

- ※1 防水コネクタになっています。必ずエンジンルーム内で接続し、バンドクランプ等で固定してください。固定されていないと異音の原因や車両の故障に繋がります。
- ※2 必ず車室内にくるように車室内に引き込んでから接続してください。
- ※3 当社AVNまたは別売のカメラ接続用電源BOXのフロントアイカメラ接続コネクタに接続してください。接続方法は、必ず当社AVNまたは別売のカメラ接続用電源BOXの取付説明書を確認の上、行ってください。
- ※4 当社AVN側フロントアイカメラ接続コネクタ(16P)に接続する場合は、カメラ変換コード(4P-16P)を使用して接続してください。接続方法は、必ず当社AVNの取付説明書を確認の上、行ってください。

●フロントアイカメラの取り付けについて

取り付け上のご注意



警告

- エンジンルームが冷めた状態で作業を行ってください。怪我や火傷する恐れがあります。注意して配線してください。
- フロントアイカメラおよびカメラコードは、高温に上昇する車両装置や可動装置に干渉しないように取り付けてください。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- フロントアイカメラのブラケットは、取付面が全面接着するように貼り付ける。接着面積が少ないと走行中はがれ、事故の原因になります。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因になります。

📷アドバイス

—取り付けの前—

- 湿気が多い時は、室外での取り付けはしないでください。
(粘着力が弱くなり、走行中にはがれる危険性があります。)
- 必ず組み合わせるメインユニット側の取付説明書もよくお確かめの上、取り付けてください。

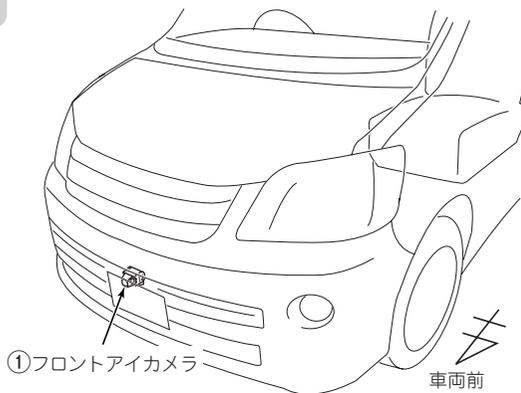
—取り付け作業時—

- 取り付け後、走行してもさしつかえありませんが、24時間は絶対に水をかけたり、雨にあてたり、引っ張る等無理な力を加えないで自然放置してください。
- 気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。
フロントアイカメラ本体やレンズ部分には、ドライヤー等を使用しないでください。

■フロントバンパーに取り付ける場合

1 フロントアイカメラの取付位置を決める。

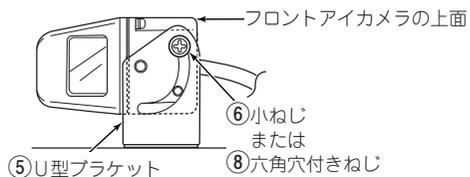
—フロントバンパーへの取り付け(例)—



📷 アドバイス

フロントアイカメラの取付位置を決める際、以下の事項に注意してください。

- フロントアイカメラを取付位置にテープ等で仮止めし、フロントアイカメラ上面が地面と水平になるように角度を調節してから小ねじまたは六角穴付きねじを本締めしてください。
U型ブラケットの再貼り付けは避けてください。(両面テープの接着強度が低下するため)



- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、フロントアイカメラは、車両先端からの飛び出し寸法が30mm未満および奥行き寸法が70mm以下の位置になるよう取り付けてください。

※車両先端から30mm以上
飛び出さないでください

飛び出し寸法が
30mm未満

① フロントアイカメラ

車両先端

奥行き寸法が
70mm以下

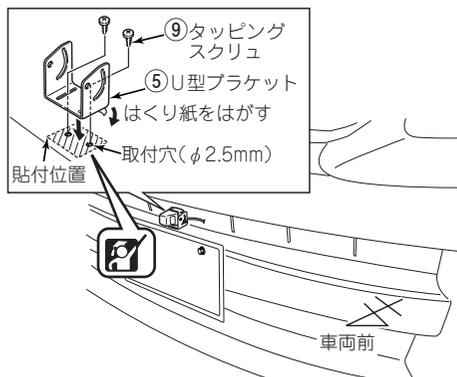
車両前

2 ブラケットを取り付ける。

- ① U型ブラケットの取付位置を決め、取付穴をマーキングする。
- ② ドリル等で取付穴をあける。
- ③ U型ブラケットを貼り付ける部分の汚れ、水分、油分等を付属のクリーナ(布)できれいにふき取る。
- ④ U型ブラケットの両面テープのはくり紙をはがし、フロントバンパーに貼り付ける。
- ⑤ U型ブラケットをタッピングスクリューで固定する。

アドバイス

- ドリル等で取付穴をあける前にブラケットの向きを確かめてください。
- 貼り付ける前に貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分にふき取ってください。
- 貼り付けた後は、確実に密着するようブラケットを十分押し付けてください。
- 気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。
- フロントアイカメラ本体やレンズ部分には、ドライヤー等を使用しないでください。



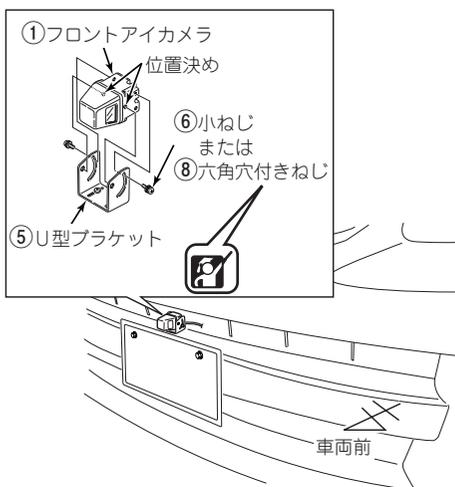
※U型ブラケットの向きを間違えないでください。

3 フロントアイカメラをブラケットに取り付ける。

- ① フロントアイカメラをU型ブラケットに取り付ける。
- ② U型ブラケットの両面テープのはくり紙をはがし、フロントバンパーの平らな面へ取り付ける。

アドバイス

- フロントアイカメラは[ECLIPSE]ロゴの印刷面が上になるように取り付けてください。
- 取付ねじは、作業スペースとの関係で作業性の良い方のねじを選んで使用ください。



■ U型ブラケットと平型ブラケットで取り付ける場合

- ③ 車両のフレームやグリル等に平型ブラケットでU型ブラケットを固定する。

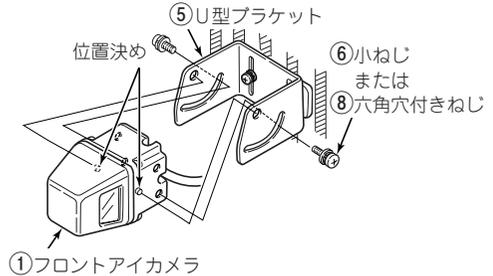
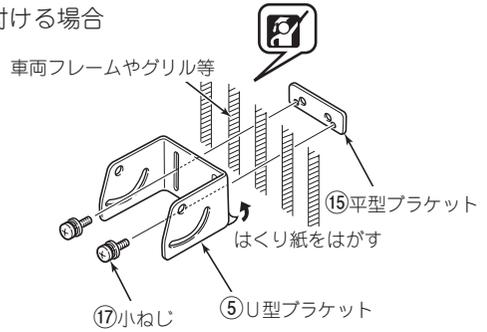
🔍 アドバイス

- 樹脂性の部位に取り付ける際は、車両部品のひび割れ等にならないようねじを締め付け過ぎないように注意してください。
- 車両の振動等で固定位置がズれる場所には取り付けないでください。

- ④ フロントアイカメラをU型ブラケットに取り付ける。

🔍 アドバイス

- フロントアイカメラは(ECLIPSE)ロゴの印刷面が上になるように取り付けてください。
- 取付ねじは、作業スペースとの関係で作業性の良い方のねじを選んで使用ください。



4 カメラカバーを取り付ける。

- ① カメラカバーをU型ブラケットに取り付ける。

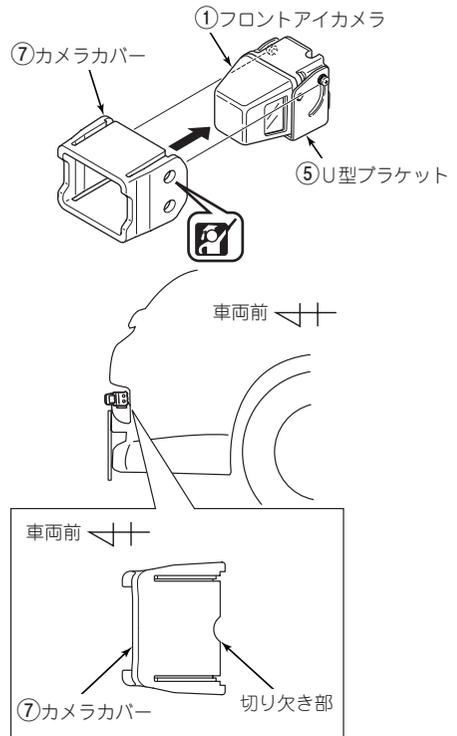


注意

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、必ずカメラカバーを取り付けてください。正しく取り付けないと、「道路運送車両の保安基準」に適合しなくなる場合があります。

🔍 アドバイス

- カメラカバー上側の穴とフロントアイカメラ取付ねじの頭を合わせてはめ込んでください。
- カメラカバーの切り欠き部が下側になるように取り付けてください。



■ U型ブラケットと平型ブラケットで取り付ける場合

② カメラカバーをU型ブラケットに取り付ける。

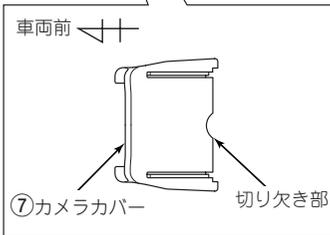
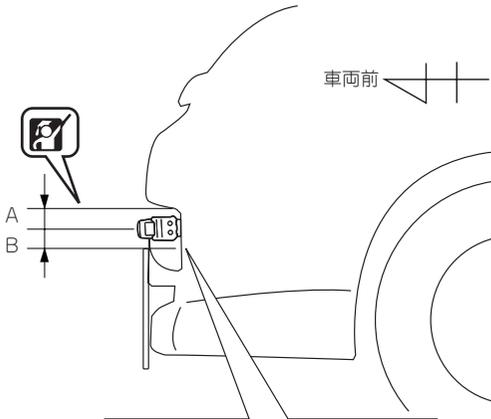
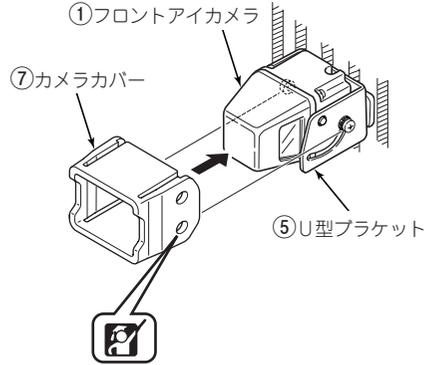


注意

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、必ずカメラカバーを取り付けてください。正しく取り付けないと、「道路運送車両の保安基準」に適合しなくなる場合があります。

アドバイス

- カメラカバー下側の穴とフロントアイカメラ取付ねじの頭を合わせてはめ込んでください。
- カメラの取付位置により、カメラカバーを取り付ける向きが異なります。下図を参考にカメラカバーを取り付けてください。



アドバイス

図中Aの幅よりBの幅が広い場合、カメラカバーの切り欠き部をカメラ上側になるように取り付けてください。また、Aの幅よりBの幅が狭い場合、カメラカバーの切り欠き部をカメラ下側になるように取り付けてください。

5 フロントアイカメラコードを車室内に引き込む。

- ① フロントアイカメラのカメラコードをクランプ(大)で固定しながらエンジンルーム内まで配線する。

アドバイス

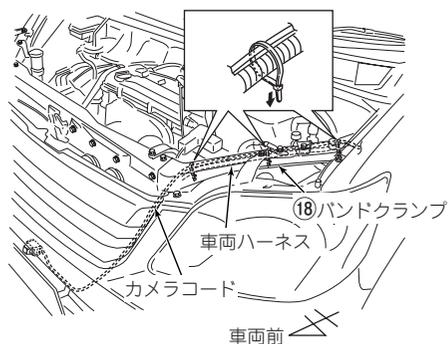
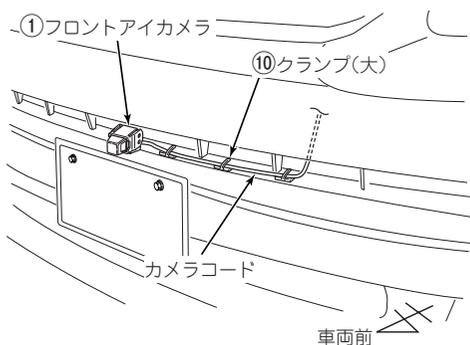
貼り付ける前にクランプ位置表面の汚れ、水分、油分を十分にふき取ってください。

- ② フロントアイカメラのカメラコードを車両ハーネス等にバンドクランプで固定しながらエンジンルーム内を配線する。



注意

- 高温部分は避けて配線してください。
- エンジンルームが冷めた状態で作業を行ってください。怪我や火傷する恐れがあります。注意して配線してください。



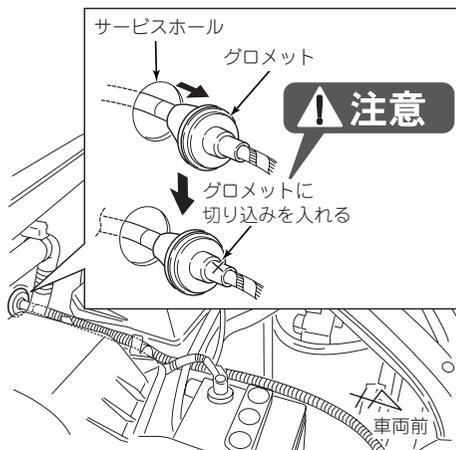
ーカメラコードをエンジンルーム内のサービスホールから引き込む場合(例)ー

- ③ エンジンルーム内にあるサービスホールからグロメットを引き出す。
- ④ グロメットにカッター等でカメラコード配線用の切り込みを入れる。



注意

グロメットに切り込みを入れる際は、車両ハーネスに傷を付けないようにしてください。



- ⑤ フロントアイカメラコードの3Pコネクタ(オス)をカメラコード(3P-3P)の3Pコネクタ(メス)に接続する。

🔧 アドバイス

防水コネクタ(3P)は、必ずバンドクランプで固定してください。固定されていないと異音の原因や車両の故障に繋がります。

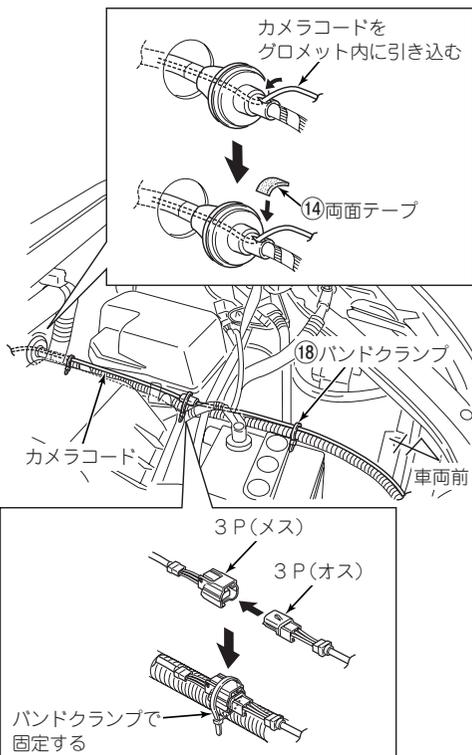
- ⑥ カメラコード(3P-3P)をグロメットを通し、車室内に引き込む。
⑦ 切り込みを入れたグロメット部分に両面テープを貼り付け防水処理をする。



注意

- 切り込みを入れたグロメットには、必ず防水処理を行ってください。車室内への水入りの原因になります。
- 雨水等の侵入を防ぐためエンジンルーム内のコード引き回しには十分注意してください。

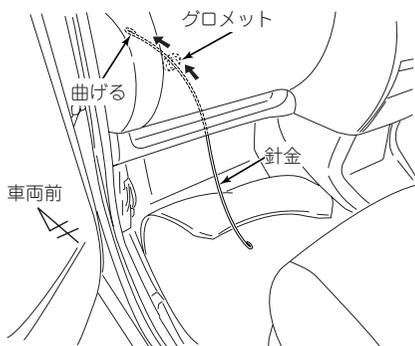
- ⑧ カメラコードを車両ハーネス等にバンドクランプで固定しながら配線する。



- ⑨ 針金の両端を曲げ、車両側のサービスホールから針金を入れ、エンジンルーム内のサービスホール内から引き出す。

🔧 アドバイス

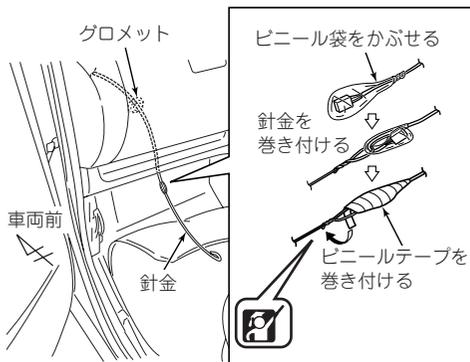
- 針金を通しにくい場合は、針金の周辺の車両ハーネスのたるみをなくすよう少し引っ張りながら通してください。
- 車両ハーネスは無理に引っ張らないでください。断線する恐れがあります。



- ⑩ カメラコードのコネクタにビニール袋をかぶせる。
- ⑪ 針金にカメラコードを取り付けビニールテープを巻き付ける。

🔧 アドバイス

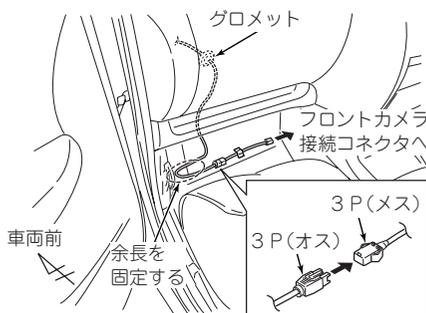
針金を使用して引き込む場合は、必ず行ってください。カメラコードに傷を付けたり、断線する恐れがあります。



- ⑫ カメラコード(3P-3P)の3Pコネクタ(オス)をカメラコード(3P-4P)の3Pコネクタ(メス)に接続する。

🔧 アドバイス

3Pコネクタ(オス)と3Pコネクタ(メス)の接続部は、必ず車室内になるようにしてください。

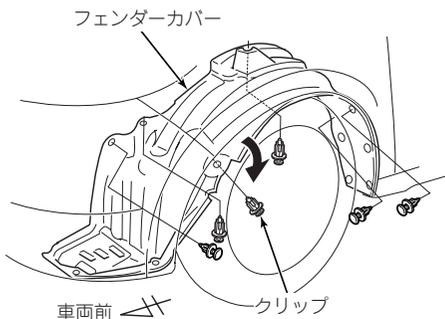


ーカメラコードをフェンダー内のサービスホールから引き込む場合(例)ー

- ⑬ フロントのフェンダーカバーを浮かせるまたは取り外す。

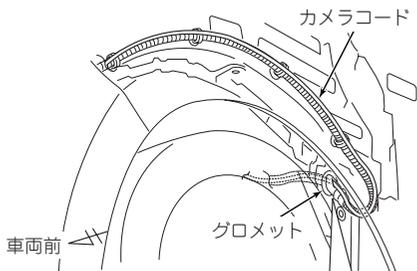
🔧 アドバイス

- フェンダーカバーは、クリップや、ネジ等で固定されており、無理に外すと破損したり変形する事があります。
- 取り外し作業が困難な場合は、車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。
(作業工賃はおお客様にご負担いただく場合があります。)



ー取り外し(例)ー

- ⑭ フェンダー内にあるサービスホールからグロメットを引き出す。
- ⑮ グロメットにカッター等でカメラコード配線用の切り込みを入れる。



注意 (Warning icon)

グロメットに切り込みを入れる際は、車両ハーネスに傷を付けないようにしてください。

- ⑯ カメラコード(3P-3P)をグロメットに通し、車室内に引き込む。
- ⑰ 切り込みを入れたグロメット部分に両面テープを貼り付け防水処理をする。

サービスホール グロメット
グロメットに切り込みを入れる

注意

カメラコードをグロメット内に引き込む

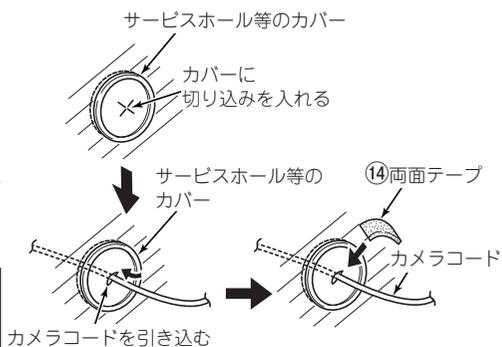
⑭両面テープ

注意 (Warning icon)

切り込みを入れたグロメットには、両面テープで必ず防水処理を行ってください。車室内への水入りの原因になります。

■ サービスホール等にかバーがある場合

- ⑱ サービスホール等のカバーにカッター等でカメラコード配線用の切り込みを入れる。
- ⑲ カメラコード(3P-3P)をカバーの切り込みに通し、車室内に引き込む。
- ⑳ カバーの切り込み部分に両面テープを貼り付け防水処理をする。

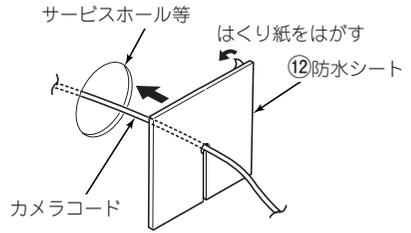


注意 (Warning icon)

切り込みを入れたカバーには、両面テープで必ず防水処理を行ってください。車室内への水入りの原因になります。

■ サービスホールにグロメットがない場合

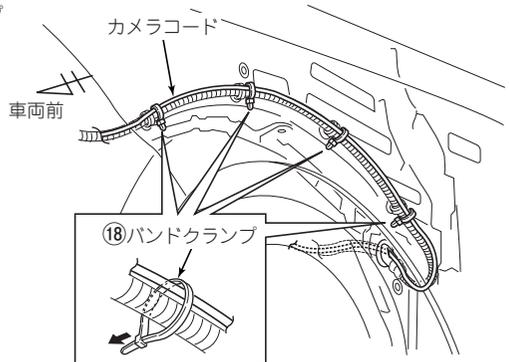
- ⑲ サービスホール等からカメラコード(3P-3P)を車室内に引き込む。
- ⑳ 防水シートのはくり紙をはがし、車両側に貼り付ける。



 **アドバイス**

- 必要な大きさにカットして使用してください。
- 高い圧力がかかる場所では使用しないでください。
- 貼り付ける前に表面の汚れ、水分、油分を十分にふき取ってください。

- ㉓ カメラコードを車両ハーネス等にバンドクランプで固定しながら配線する。



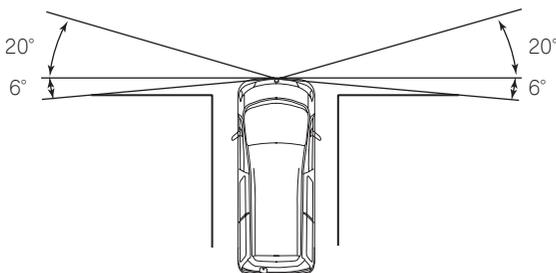
●フロントアイカメラの視野角について

📷アドバイス

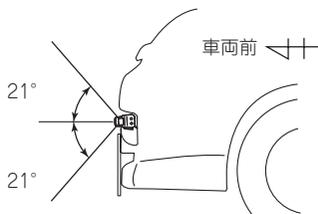
フロントアイカメラの視野角度は、以下のようになっています。

取付位置や自車の状況、路面状況により表示される範囲が異なる場合があります。

■ 左右方向



■ 上下方向



●フロントアイカメラの映像について

📷アドバイス

フロントアイカメラの使用方法は、接続する当社製AVNまたは別売のカメラ接続用電源BOXの取付説明書を参照してください。

画面中央部にマスクを配置し、マスク右側には車両前方右側の映像を、マスク左側には車両前方左側の映像をそれぞれ表示します。

なお、道路環境によりマスク部周辺が少し暗くなる部分がありますが、これは左右の被写体を一つの画面に光学的に重ね合わせるためで故障ではありません。

下の画面表示は、代表例であり、取付位置や自車の状況、道路状況により表示される範囲が異なります。

